
津島市市民協働宣言

わたしがつくる日本一のあたたかいふるさと
～わたしたちが織りなすパッチワークのまちづくり～

津島市は、木曾川の流に抱かれた濃尾平野の美しい自然環境に恵まれ、この豊かな環境の中で先人が培ってきた英知と伝統・文化が息づくまちとして今日を迎えています。

こうした先人の素晴らしい遺産を継承するとともに、私たちがひとりの人間として尊重され、健康で安心・安全かつ生き生きとした暮らしを営むことができる地域社会を築くことは、私たち津島市民の願いであるとともに次の世代に対する責務です。

私たちはこのことをまちづくりの基本として位置づけ、次の理念によりその実現を目指します。

●市民主役のまちづくり

まちづくりの主役は私たち市民です。

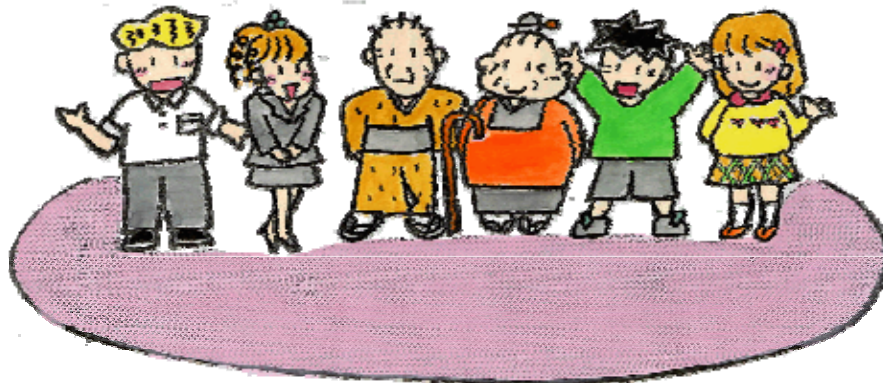
私たちひとりひとりが、先に示した「まちづくりの基本」の実現のために、まちづくりの課題を自らの課題として受け止め、その解決に向けて積極的に取り組んでいきます。

●心あたたまる共生のまちづくり

誰ひとりとして同じ人間（団体・組織）は存在しません。私たちは皆かけがえのない存在であり、それぞれがそれぞれの考え方や得意分野などを持っています。

私たちは、「まちづくりの基本」の実現のために、そうした違いを互いに受け入れ、乗り越えて、心あたたまるつながりをまち全体に広めていくように努めます。

まちづくりの課題をひとりでは解決できない時などは、こうした心あたたまるつながりの基盤に立って、私たちは互いに補い合い、持てる力を発揮し合いながらその課題の解決に協力して取り組んでいきます。





市民...津島に集い、住み、働き、学び、公共心を抱き、行動をする人々のこと。
 協働...各主体が、それぞれお互いの違いを理解し合い 尊重しながら、共通の目的を達成するために対等の立場で協力して、自発的に活動すること。

私たち市民は、みんなで 信頼関係を築き ささえ合い、まちの将来のことを考えながら
 コミュニティーの基盤を構築し、協働のまちづくりを行います。

人にふれる

私たちは、人とかわりコミュニケーションをとる中で、地域社会の一員であるという自覚を持ち、自主的かつ積極的な活動を、自らの判断と責任において行います。

歴史・文化にふれる

私たちは、長い歴史の中で、地域に根ざし育まれた伝統文化、知恵や技能などにふれ、地域が誇る共有資産として、それぞれの想いや新たなつながりを次世代へ継承します。

地域社会(場)にふれる

私たちは、人の意見を傾聴し、公共心を持つ自立した市民に成長するために、だれでも参加できる出会いとふれあいの場を提供し、対話を重ねてだれもが住みたくなるまち(地域)を作ります。

自然にふれる

私たちは、豊かな自然とふれあい、その恵みを体感し、自然と人の調和したあたたかい循環型の地域社会づくりに努めます。

ところにふれる

私たちは、地域社会と協力して生涯にわたり学び続けられる機会を提供し、さまざまな人との交流を通じて、豊かなところとリーダーシップを育みます。